

IBM DB2 Alphablox



## 新機能

バージョン 8.2



IBM DB2 Alphablox



## 新機能

バージョン 8.2

**ご注意!**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、7 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM DB2 Alphablox for Linux, UNIX and Windows (プロダクト番号 5724-L14) のバージョン 8 リリース 2 と、新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： SC18-9438-00  
IBM DB2 Alphablox  
What's New  
Version 8.2

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2004.11

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、  
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1996, 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004

---

## 目次

<b>新機能</b> . . . . .	<b>1</b>
広がったプラットフォーム. . . . .	1
DHTML Client における継続的な技術革新 . . . . .	3
その値の機能拡張. . . . .	4
<b>特記事項.</b> . . . . .	<b>7</b>
商標 . . . . .	9



---

## 新機能

IBM DB2 Alphablox for Linux, UNIX and Windows V8.2 では、基礎となるインフラストラクチャーにいくつかの機能拡張がなされ、データ・アクセスとデータ・プレゼンテーション層に新規フィーチャーが含まれ、セルフサービスのレポート作成アプリケーション・フレームワークである FastForward に追加機能が組み込まれています。それらの新規フィーチャーと機能拡張について、以下に説明します。

- 1 ページの『広がったプラットフォーム』
  - 1 ページの『新たにサポートされたプラットフォーム』
  - 1 ページの『グローバル化と GB18030 認証』
  - 2 ページの『DB2 Cube Views のサポート』
  - 2 ページの『リレーショナル・キューブの機能拡張』
- 3 ページの『DHTML Client における継続的な技術革新』
  - 3 ページの『ドラッグ・アンド・ドロップの完全サポート』
  - 3 ページの『ヒストグラム・チャート』
  - 3 ページの『トラフィック・ライトの機能拡張』
  - 3 ページの『80/20 分析』
  - 4 ページの『ページ・フィルターの機能拡張』
  - 4 ページの『新しいグリッド選択モデル』
  - 4 ページの『新しい DateChooser UI コンポーネント』
  - 4 ページの『レンダリング・パフォーマンスの向上』
- 4 ページの『その値の機能拡張』
  - 4 ページの『FastForward の機能拡張』
  - 5 ページの『新しい ResultSetBlox』
  - 5 ページの『メタデータ用のレベル API』

---

## 広がったプラットフォーム

### 新たにサポートされたプラットフォーム

新たにサポートされたプラットフォームには、以下のものがあります。

- x86 上の Red Hat Enterprise Linux™ 3
- 64 ビット版 AIX 5L™ (バージョン 5.2)
- DB2 Universal Database™ バージョン 8.2.2
- DB2® Information Integrator バージョン 8.2、バージョン 8.1 (フィックスパック 2)

### グローバル化と GB18030 認証

DB2 Alphablox は以下の言語に翻訳されました。

- 英語

- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- スペイン語
- ブラジル・ポルトガル語
- 韓国語
- 中国語 (簡体字)
- 中国語 (繁体字)

DB2 Alphablox は GB18030 認証も受けており、GB13000 および追加文字サポートに関する中国の国内規格を満たしています。

## IBM Tivoli License Manager のサポート

DB2 Alphablox は IBM® Tivoli® License Manager (ITLM) をサポートするようになり、ソフトウェア・ライセンス発行や、使用状況の管理および報告が容易になりました。

## DB2 Cube Views のサポート

DB2 Alphablox V8.2 では、DB2 Cube Views V8.2 および V8.1 のサポートを追加しています。DB2 Alphablox は DB2 Cube Views からのメタデータ定義を使用して、リレーショナル・キューブ定義を作成します。リレーショナル・キューブが DB2 Alphablox にいったん定義されると、それはすべてのユーザー・インターフェース Blox 用のデータ・ソースとして使用することができ、それによってユーザーは、他のマルチディメンション・データ・ソースの場合と同様の仕方で、そのデータと対話することができます。

## リレーショナル・キューブの機能拡張

DB2 Alphablox V8.2 はリレーショナル・キューブ・エンジンにおいて、次のような機能拡張を提供しています。

- **多くの追加タイプのスキーマのサポート。**ディメンション階層は、任意の JOIN 式によって結合された表集合により定義できるようになりました。
- **追加の MDX 関数のサポート。**新たにサポートされた関数には、以下のものがあります。
  - メンバー・ナビゲーション関数: Ancestor(), Ancestors(), Cousin(), FirstChild(), FirstSibling(), LastChild(), LastSibling(), NextMember、および PrevMember
  - サブセット関数: Except(), Head(), Tail(), および Intersect()
  - 時系列関数: PeriodsToDate() および ParallelPeriod()
- **メンバー属性のサポート。**メンバー属性を MDX 照会で使用できるようになりました。
- **パフォーマンスの向上。**DB2 Alphablox Cube Server の背後にあるキュービング・エンジンが使用する SQL 照会の数が減り、結果として、全体的な応答時間が速くなりました。

詳しくは、*DB2 Alphablox Cube Server 管理者用ガイド* を参照してください。



---

## DHTML Client における継続的な技術革新

### ドラッグ・アンド・ドロップの完全サポート

バージョン 8 リリース 2 より前では、DB2 Alphablox は、ツリー・メニュー・インターフェースを持つデータ・レイアウト・パネルでドラッグ・アンド・ドロップをサポートしていました。DB2 Alphablox V8.2 では DHTML クライアントでのドラッグ・アンド・ドロップの完全サポートが追加され、ユーザーは GridBlox、PageBlox、および DataLayoutBlox 内で、あるいはそれらの相互間で、ディメンションをドラッグ・アンド・ドロップできるようになりました。ドロップ可能な場所までディメンションがドラッグされると、赤のバー標識が現れます。このドラッグ・アンド・ドロップ機能は、カスタマイズ・アプリケーションの基礎となる UI モデルでも完全にサポートされます。

### ヒストグラム・チャート

DB2 Alphablox V8.2 はヒストグラム・チャートをサポートするようになりました。ヒストグラム・チャートは、値のグループ（つまり、ビン）のカウントを表示することにより、データ分布を視覚化します。チャート内の値の範囲とビンの数は自動的に設定されます。アプリケーション開発者はこれらの設定値を、Alphablox Tag Libraries または Java™ API を使って指定できます。エンド・ユーザーはユーザー・インターフェースを通して、設定値をオーバーライドすることができます。

### トラフィック・ライトの機能拡張

トラフィック・ライト機能では、テキスト・ベースのトラフィック・ライトをサポートするようになりました。次のような検索条件によるテキスト検索能力が提供されます。

- “含む値” 条件。これにより、サブストリング一致が可能になります。
- “類似の値” 条件。これにより、完全一致突き合わせと、ワイルドカード (0 文字以上を表す \* と、1 文字を表す ?) を使ったパターン・マッチングが可能になります。

加えて、エンド・ユーザーとアプリケーション開発者は、条件が成立した場合に、データ・セルだけではなく行全体または列全体を強調表示するかどうかを指定できます。

### 80/20 分析

アプリケーション開発者は Blox UI Tag Library を使用して、80/20 分析サポートを簡単に追加できるようになりました。80/20 分析によりユーザーは、全体的な値に最も寄与している因子の小さなサブセットを識別することができます。開発者が関連する Blox UI を GridBlox または PresentBlox に追加すると、Blox の右クリック・メニューを介して 80/20 分析オプションが使用可能になります。このオプションを選択すると、「合計のパーセント」列と「合計の累積パーセント (Accumulated Percent of Total)」列がグリッドに追加され、全体的な値の 80% を構成する上位の寄与因子をリストし、残りは 1 つの項目としてまとめます。

## ページ・フィルターの機能拡張

DB2 Alphablox 8.2 ではいくつかのページ・フィルターの機能拡張が行われ、GridBlox、PageBlox、およびメンバー・フィルターが継ぎ目なく一緒に動作するようになりました。メンバー・フィルターで行われるメンバー選択と PageBlox で行われるメンバー選択とは同期化され、PageBlox は GridBlox の行および列からのメンバー設定を保存するようになりました。GridBlox と PageBlox の間でディメンションが移動されると、ディメンションのメンバー設定は保存され、ユーザーがピボットの前に持っていたデータ・ビューが維持されます。

## 新しいグリッド選択モデル

DB2 Alphablox 8.2 の新しいグリッド選択モデルにより、セル、行、列の選択を、より良くプログラマチックに制御できるようになりました。デフォルトで、データ・セルをクリックすると単一のセルが選択され、ヘッダー・セルをクリックすると行全体または列全体が選択されます。新しいグリッド選択モデルによってアプリケーション開発者は、デフォルトの動作から、行ベースまたは列ベースの選択に変更できるようになりました。

## 新しい DateChooser UI コンポーネント

DHTML クライアントの基礎となるユーザー・インターフェース・コンポーネントに、新しいメンバーとして DateChooser が追加されました。DateChooser は、テキスト・フィールドの隣にカレンダー・アイコンを追加することにより、Edit コンポーネントを拡張します。カレンダー・アイコンをクリックすると、編集フィールドに入れる日付を選択できるように、カレンダー・ウィジェットが立ち上がります。DateChooser の例を Blox Sampler で利用できます。

## レンダリング・パフォーマンスの向上

以前よりもさらにコンパクトになった DHTML により、DB2 Alphablox V8.2 では引き続き DHTML クライアントのパフォーマンスが向上しています。これによりサーバーとネットワークの使用率がいっそう削減され、結果として応答時間が速くなりました。これには、初期ロード時間、スクロール・パフォーマンス、およびデータ・ナビゲーション操作の応答時間の高速化も含まれます。

---

## その値の機能拡張

### FastForward の機能拡張

Alphablox FastForward は、ビジネス組織全体でカスタム分析ビューをすばやく開発し、配備し、共用するために設計されたサンプル・アプリケーション・フレームワークです。このセルフサービスのレポート作成アプリケーション・フレームワークから力を得て、エンド・ユーザーは独自のアプリケーション・ビューを作成することができます。このリリースの FastForward には、次の 2 つの機能拡張がなされました。

- DB2 Alphablox Cubes のサポート
- Relational Reporting Blox のサポート

これらの機能拡張によりアプリケーション開発者は、FastForward アプリケーション・フレームワークを使用して、DB2 Alphablox に定義されたすべての選択可能なデータ・ソースを十分に利用することができます。

## 新しい ResultSetBlox

DB2 Alphablox V8.2 は、カスタム・データ結果セットに関連した DataBlox にプッシュするための、新しい ResultSetBlox を提供しています。ResultSetBlox を DataBlox に付加することにより、アプリケーション開発者は JDBC データ・ソースに関連した通常関数を拡張し、DataBlox で照会をインターセプトし、任意の結果セットを DataBlox に戻すことができます。

## メタデータ用のレベル API

与えられたディメンションのレベル情報にアクセスするために、レベル・オブジェクトを使用できるようになりました。あるディメンションからそのレベルを識別し、次いで、そのユニーク名や表示名といったレベルに関する情報を取得したり、そのレベルのすべてのメンバーにアクセスすることができます。



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Corporation, J46A/G4, 555 Bailey Avenue, San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

---

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX 5L  
IBM

DB2  
Tivoli

DB2 Universal Database  
WebSphere

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。









プログラム番号: 5724-L14

Printed in Japan

SD88-6494-00



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12